

会 議 録

(8-1)

会議の名称		令和6年度 第3回 武里大枝市民センター地域づくり推進会議	
開催日時		令和7年1月29日(水曜日)	開 会
			閉 会
開催場所		武里大枝市民センター 2階 研修室	
議長(会長等)氏名		会長 山本 健吉	
出席者	委員氏名	(出席人数：10人) 竹部 耕治、原 宏一、庄司 都世子、阿久澤 明美、 角田 範夫、石井 里美、関根 由希、谷口 正憲、石場 悦子	
	説明者その他	(出席人数：3人) 岩谷 一弘（春日部市長） 飯口 信彦（市民生活部長）、関口 信義（武里大枝市民センター長）	
	事務局	(出席人数：2人) 松田 あかね、原田 瞬	
次第及び公開・一部公開・非公開の区分		次第 1 開会 2 会長あいさつ 3 市長あいさつ 4 協議結果報告 (1) 武里大枝市民センターにおける実績について (2) 武里南（団地）地区の住民が、より豊かに暮らしていくために 5 意見交換 市民センターのあり方について 6 市長コメント 7 閉会	
一部公開・非公開の場合はその理由		<input type="checkbox"/> 要綱第3条第1号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第2号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第3号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第4号該当：	
配布資料		資料1 武里大枝市民センターにおける実績について 資料2 武里南（団地）地区の住民が、より豊かに暮らしていくために	
会議録の作成方法		<input type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録	
会議録署名の指定		会議録の署名は会長が行うものとする。ただし、会長が不在その他の理由によりやむを得ないと認められる場合は、副会長または事前に会長から指名された委員が署名を代行できるものとする。	

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	資料の確認。会議の開催要件を満たしている旨の報告。
	会議を公開する旨の報告。傍聴希望者なしの報告。
1	開会
2	会長あいさつ
3	市長あいさつ
4	協議結果報告
	(1) 武里大枝市民センターにおける実績について
事務局	資料1に基づき報告
	①地域まちづくりの拠点としての機能
	自治会活動の支援として、会議室の免除の手続きを1件行った。
	②防災・防犯としての機能
	12月18日に講義形式、1月17日に避難所運営訓練をそれぞれ
	危機管理防災課と連携し実施した。
	防犯として、3月開催のけやきフェスティバルにおいて、春日部警察
	署による、防犯相談コーナーを設置する方向で調整中。
	③こどもの居場所づくりとしての機能
	学習スペースは10席を開放中で、毎日利用がある状況。
	キッズスペースは、多く利用されており、市内市民センターのうち
	2番目の利用者数となっている。
	④各種証明書発行の機能
	マイナンバーの申請補助について、ほぼ毎日実施している状況。
会長	資料2に基づき報告
	第1回会議は、市民センターの概要については共通認識を持つべく、
	8月9日に開催した。
	その際、あえて着地点を定めず思いつくまま意見交換を行った。
	その後、改めて魅力と課題について意見を聞き、10月22日に
	第2回会議を開催した。
	その意見をまとめ、集約したものが資料2の見開きにあるためご覧
	いただきたい。
	この地域の魅力については、①緑が多く安心して暮らせること、
	②多彩にイベントが多く実施されている、
	③学校と地域との距離が近く協力連携が図られている、
	④地域内ですべてのことがほぼ完結するとの意見があった。
	団地という性質上、様々なことに対し、物理的な距離だけでなく、
	心理的な距離も近いということであると捉えている。
	次に課題について、①地域参加へのきっかけは多くあるが、若い人

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
	<p>をはじめとして、これまで参加していない人が、最初の一步を踏み出すための仕掛けが用意されていない、</p> <p>②施設・公園などのハード面を活かせていない、</p> <p>③は、さきほどの魅力の④のことを逆に捉え、地域内ですべてのことが完結することということは、コミュニティを外へ広げにくい現状があるという意見があった。</p> <p>以前と比べて良くなったこととしては、</p> <p>①URコミュニティとともに、イベントを中心として、様々な活動ができるようになった、</p> <p>②支部社協や自治会協議会のふれあい喫茶などの活動を中心として、市の共催事業の実施など、地域参加の活動がより活発になったという意見があった。</p> <p>ふれあい喫茶は毎週水曜日に、コーヒーとお菓子を安価で提供し、団地住民の憩いの場として親しまれているところである。</p> <p>次に、地域の活性化に向けて大切なことについて話し合った。</p> <p>まず、地域コミュニティを活性化させるために何が有効かですが、</p> <p>①高齢者のみや、子どものみで集まるのではなく、高齢者と子どもが一緒になってイベントなどを開催すること、</p> <p>②学校と連携し、様々な世代が交流できる場所を作ること、</p> <p>③特に、若い人が自然と集えるようなイベントの実施や、居場所を作ることが有効であるという意見があった。</p> <p>子どもや、その親などの若い世代の活躍が、なによりも有益であるとの声が多く挙がった。</p> <p>次に、よりよい地域のためには何が必要かについて、①まず家の外に出ることが大切なため、高齢者の居場所づくりも進めていく、</p> <p>②この地域は、イベントもたくさんあって、こんなにも面白い地域なんだ！ということ、地域の人に知ってもらうこと、</p> <p>③外国の方と地域が積極的に交流できる機会を増やすことが有効であるとの意見があった。</p> <p>高齢者が多いことを、逆に魅力と捉えるとともに、地域の良さ、楽しさに改めて気づいてもらう必要があるといった意見であった。</p> <p>最後に、そのために地域できることは何か話し合った。</p> <p>その中では、①焦点を絞って、事業を展開していくこと、</p> <p>②異年齢・多文化が、ふれ合えるようなイベント、外国の方が多い特色を生かして、海外の料理を作ってみんなで食べよう！などを開</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	催すること、
	③地域の子どもが、イベントなどにボランティアとして積極的に参加できるような雰囲気を作り、その機会を提供すること、
	④地域の情報を市民センターに提供し、発信していくこと、との意見が出た。
	委員をはじめとして、すぐに実行できることは、いますぐにでも実行に移し、イベントの企画に関しては、市民センターと密に連絡を取り合い、具体性をもって、実施していこうと考えている。
	ここまでの意見をまとめ、この武里南地区に必要なことは、
	高齢者・子ども・若い世代・外国の人など、様々な人や団体が、互いに理解し合い、常に交流し合えるような地域づくりであると考え、それを実現するためには、住民全員が地域のことに関心を持ち、より豊かに暮らすことができるよう、市民センターとそれに携わる地域の人・団体が中心となり、若い人をはじめとする“これまで地域に参加していなかった人”を巻き込みながら、自然と集える居場所をつくるとともに、気軽に参加できるイベントを数多く開催することが有効であり、また、求められていることだと考える。
	そして、その活動を積極的に地域にPRし、元気な人がたくさん居ること、元気な地域になっていることを広く発信していく必要があるという結論に至った。
	次に、市民センターのあり方については、委員および地域住民から資料2の裏面のとおり意見をいただいている。
	最後に、私たち推進会議委員も参加した、市民センター主催の「防災をかんがえる」イベントについての報告である。
	資料2裏面下段のとおり実施し、どちらも好評であった。
	防災に関する基本的知識を身につけるだけでなく、住民による積極的な避難所運営について、私たち委員も含め、参加者全員が認識できたと感じる。
	次年度以降についても、地域全体で取り組んでいく必要のある、大変意義深いイベントであったと思う。
	今後も引き続き、市民センターが中心となり、様々なイベントの開催をとおして、「より豊かな暮らしを送ることができる地域」の実現に向け、地域全体で立ち向かっていきたいと考えている。
	以上をもって、来年度のさらなる発展を期待し、令和6年度 武里大枝市民センター地域づくり推進会議の協議結果のまとめとする。
	以降の進行は、規定に基づき、会長が議長となる旨を報告
	5 意見交換

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
会長	委員より推進会議や、市民センターのあり方などについて感想や意見をひとり3分程度でいただきたい。
委員 1	避難所開設訓練は大変有効だった。今後も自分でやってみるといったイベントを数多く開催してほしい。 まずは社会参加するということが何よりも大切である。
委員 2	ふれあい喫茶は大変喜ばれている。対面で「話す」ことが大切。「ふれあう」ことも素晴らしいこと。避難所開設訓練の講師の話は、今まさに地域が求めているお話だった。特に避難所の開設などは、自分たちでできると感じる事ができた。自信を持つことにつながった。
委員 3	これまでも市民センターには大変お世話になっている。これからもよろしくお願ひしたい。
委員 4	キッズスペースをより充実できるように頑張ってもらいたい。 地域、近所で亡くなった方の連絡、管理について研究を要すると感じている。キオスク端末の利用数などは、見込みと比べてどのくらいの成果があったのか気になる。
委員 5	阪神淡路大震災で被災したとき、何かできることはないかと災害ボランティアに参加した。その際、本当に様々な問題があったが、その中で、地域が何ができるのかということを中心に考えていた。今回の訓練では、ある程度冷静に訓練ができたが、よりパニック状態を演出し、その状態での訓練をするべきだと感じている。
委員 6	防災関連では、1回目には来なかったが、2回目の訓練には来たという人がいた。初めておはなしする人とも、訓練を通じていろいろなお話をすることができ、良い経験となった。 イベントが復活してきたことはとてもいいが、以前はふれあい喫茶にて、武里南小学校の児童が合唱などを披露してくれていた。今は当時と開催時間が異なることや、働き方改革の影響などもあり難しいようだが、やはりキーとなるのは子ども。そしてその保護者である若い層の人たちである。
委員 7	地区センターの機能が付されてから、公民館が身近になったのは間違いない。防災の講座は、1回目の内容で終わってしまうことが多いが、2回目の訓練があったのはとても良かった。こういった経験をした方が、地域でたくさん居ることが理想であると思う。
委員 8	委員になり携わる前は、公民館のことをあまり意識せず、公共施設があるなあ位にしか思っていなかった。今は、とても大切な施設であると感じている。イベントなどには、知っているけど参加しない

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
委員 9	<p>という人がいると思うが、それよりも、知らないという人が多いと思う。まず知ってもらおうということが何よりも大切である。</p> <p>インターネット、特にSNSの利活用をすすめ、若人を取り込んでいき、必要な人に必要な情報を届けることが大切である。</p> <p>避難所開設訓練に関して、簡易ベッドひとつとっても壊れないのか、といった素朴な疑問も、実際に経験することで疑問を払拭することができた。地域の方にも、まずは参加してほしいと感じた。今後は炊き出しをやるのも良いと思う。</p> <p>一人世帯が増加する中、取り残される人を作らないための対策について考えていきたいと思う。</p>
委員 10	<p>3年ほど前に立ち上げたフレイルサポーターの取り組みについて、最初は人数が少なかったが、今は30人ほどになり、第6地域包括支援センターを中心に円滑に運営できている。高齢化率が高くなる中、ピンピンコロリをめざして、社会参加と運動と栄養の3つの要素は大変重要なことである。えんjoy体操やそらまめ体操は引き続き続けてもらいたい。</p> <p>また、一度、ふれあい喫茶に市長に来ていただきたい。</p> <p>来年度の要望としては、URと第6地域包括支援センターの職員に委員として協力してもらえたら良いと思う。</p>
会長	<p>先ほどの報告とあわせ、市長よりコメントをいただきたい。</p>
市長	<p>6 市長コメント</p> <p>まず、なぜこの地区センターの機能を付し、市民センターなのかというところからのお話をしたい。</p> <p>首長向けの研修の中で、先行的な事例としてあったのが、この地区センターという考えであった。春日部市は、人口が23万人近くおり、各地域でコミュニティが保持されてきているが、人口の少ない地域では、それが立ちゆかない状況になり、行政サービスが可能な状況になることも考えられる。それを解決していくには、地域の人と助け合いながら、共同でやっていくスタイルを立ち上げる必要があると感じた。ここ春日部においても同様であり、その状況に陥ったとき、上手く回っていかない、コミュニティは簡単には形成できないと感じた。話し合っただけで、実行しようと思うことなどもあると思った。その始まりとしては、やはり地域の存在が大きいのと考えた。地域のシンボリックな施設として公民館に着目をしたところである。防災・防犯の問題は、市民全員が、生まれたから死ぬまでの長いスパンで大切なことであるので、この地域で醸成してほしいと考えている。子どもの居場所づくりについては、放課後児童クラブ</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
	<p>のことだけでなく、様々な理由で学校に行けない人の支援、その受け皿としての機能もある。これが地域に根ざしたものになれば、地域から、勉強を教えていただくボランティアを募ったり、ということができたら良いと思っている。武里は人口は多いが、児童館がない地域であり、出張児童館の事業を検討しているところである。</p> <p>多機能端末については、DX推進の観点からも取り入れた。活用いただいているようである。</p> <p>防災の訓練については、特に豊野地域と武里公隣の地域が秀でて実施しており、これを全地区に広げていくことが大切であり、重点的に行ってきた。</p> <p>危機管理防災課職員の、能登での経験談については、委員の皆様からも大変好評であったとのことだが、これを、小中学校の児童生徒にも聞いていただいているところである。若い世代を取り込んでいくためには、地域の体育祭などのイベントに、小中学生、高校生に運営に携わってもらい、上手に引き込んでいくことが大切である。</p> <p>方法として、自治会の役員などが声をかけることはあまり有効ではなく、核となる子を探し、その子から広げてもらうことが有効であると考えている。そしてその場の提供などは、行政が中心となっていくのではなく、地域の皆さんが主導となり進めていくことが大切であると考えている。公民館という社会教育施設の中では、地域の皆様の声を拾いきれないところがあったが、市民センターとして機能していくことで、真に地域に寄り添った施設となることを願い設置するに至った。また、情報発信の大切さも痛感しているところであり、SNSの有効利用を図って参りたいと考えている。例えば、先日、八潮市で起きた道路の陥没事故に関するポストを投稿したところ、最初の30分で1万もの再生があり、その後、約半日で20万もの再生があった。それだけSNSの影響力は高く、活用を図っていけるものであると確信している。特に、LINEについては利用者数が多く、これをポータルサイトにしていきたいと考えている。</p> <p>豊野地区においては、地域の団体が中心となり、地域のタウン誌を自主発行している。その経費は、それぞれの団体が持ち寄ったほか、地域の企業などからの協賛広告費を活用しているとのこと。いろいろな工夫をしながら地域を盛り上げていただきたいと考えている。</p> <p>地域の課題を解決するため、行政ができることは協力を惜しまないが、地域の人たちでできることはないか、真剣に話し合っていくところに、この会議の素晴らしさがあると思っている。</p> <p>来年度以降も皆様のご協力をいただけたらありがたいと思っている。</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
会長	質問があれば挙手をお願いする。
事務局	ないようなので、議長の職を解き、進行を事務局にお返しする。
	活発な意見交換をいただき感謝申し上げます。
	本日この会議をもち、令和6年度の武里大枝市民センター地域づく
	り推進会議は終了となる。委員の皆様においては、よりよい地域の
	ために、貴重なご意見をいただいたことを改めて感謝申し上げます。
	来年度以降についても、さまざまな形でここにいる皆様、そして、
	地域で活躍されている皆様には、お世話になることが多々あろう
	かと思う。その際は、ぜひご協力をいただけたら幸いである。
	以上をもって、令和6年度 第3回武里大枝市民センター地域づく
	り推進会議を閉会とさせていただきます。

議事の顛末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和 7 年 1 月 29 日

署名者の職・氏名 会長 山本 健吉